

産業標準化推進月間事業

標準化と 品質管理

中国地区大会 2023

経済産業省では毎年10月を「産業標準化推進月間」と定め、各地方経済産業局とともに、全国的に産業標準化の普及・啓発に関する各種の行事を展開しています。その結果として、各組織に標準化が定着し、技術の向上や生産の効率化に大きな成果をあげてまいりました。「標準化と品質管理 中国地区大会」はこの普及活動の一環として、経済産業省 中国経済産業局、及び関係団体のご支援のもと、本年度は裏面のプログラムにて開催いたします。JIS認証組織やISO登録組織の方々はもとより、標準化と品質管理を推進しようとする企業の方々のご参加をお待ち申し上げます。

10月16日(月) 13:00~16:40

広島県民文化センター

主催：一般財団法人 日本規格協会 広島支部

後援：経済産業省 中国経済産業局
JIS 登録認証機関協議会

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶 一般財団法人日本規格協会 広島支部 支部長 杉山 郁男

13:10-13:20 日本規格協会グループの活動と新たな取り組み 一般財団法人日本規格協会 理事 野田 耕一

講演

13:20-14:10 「日本型標準加速化モデル」の実現に向けて(仮)

経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課
課長補佐 前場 卓也

グローバル市場の変化を踏まえ、日本の標準化活動も、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことが重要となっており、そのために官民の各主体がどのような経営上/政策上の工夫を講じていくべきか考える必要があります。そのカギとなる、今日的な標準化の効果・効能について、本年6月に日本産業標準調査会基本政策部会が取りまとめた「日本型標準加速化モデル」を用いながらご紹介します。

14:10-14:20 休憩

特別講演

14:20-15:10 ヒューマンエラー対策の理論と実践

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
中田 亨



ヒューマンエラーは、安全や品質にとっての大敵です。しかし、人間は誰でもミスを確率的に犯すものですから、ミスを前提とした体制が求められます。ミスの起こり方も種々雑多であり、ポカヨケだけでは「モグラたたき」のようにキリがありません。本講演では、優良な対策の実例を取り上げつつ、ヒューマンエラー対策の理論と、そのうまい実践例をご紹介します。

15:10-15:20 休憩

講演

15:20-16:30 JISマーク表示制度
～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～

JIS登録認証機関協議会
一般財団法人日本品質保証機構 JIS認証事業部
事業推進課 主幹 長澤 智行



コロナ禍の3年を通じて新たな社会システムの構築が模索されています。一方、企業の品質不祥事は依然として発生しています。JISマーク表示制度においても長年の運用による信頼性に加え、DX化等の効率化や、より信頼性の向上を図る改善が求められています。最新の運用状況や登録認証機関協議会(JISCBA)の取り組みをご紹介しますとともに、審査での不適合事例及び品質管理のよい事例を紹介します。

16:30-16:40 閉会挨拶 一般財団法人日本規格協会

報文集は紙での提供をいたしません。必要な方はダウンロード・印刷してご持参ください。

一般申込

11,000円(税込)

維持会員の方

ご加入1口につき1名様

無料

※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。

口数以上のお申込

5,500円(税込) / 1名様

会場

広島県民文化センター 大ホール

広島市中区大手町1丁目5-3

アクセス



●路面電車 ————— 「紙屋町西」徒歩 3分

●バス ————— 「紙屋町」徒歩 2分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

お申込はWEBで

SQ 大会 2023

検索



<https://www.jsa.or.jp/>